o　平成 26 年から平成 28 年までの各年における転出者人口比率の合計数を 3 で除して得た数（小数点以下 4 位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。）

M　次の算式Ⅳによつて算定した数（当該数に小数点以下 3 位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入し、当該数が 3 を超える場合には 3 とし、1 に満たないときは 1 とする。）

算式Ⅳ

M ＝ 408.16 ×（q － p）＋ 5.53

算式Ⅳの符号

p　平成 15 年 3 月 31 日現在、平成 16 年 3 月 31 日現在及び平成 17 年 3 月 31 日現在における年少者人口比率の合計数を 3 で除して得た数（小数点以下 4 位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。）

q　平成 27 年 1 月 1 日現在、平成 28 年 1 月 1 日現在及び平成 29 年 1 月 1 日現在における年少者人口比率の合計数を 3 で除して得た数（小数点以下 4 位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。）

N　次の算式Ⅴによつて算定した数（当該数が 3 を超える場合は 3 とする。）

算式Ⅴ

N ＝｛35.09 ×（s － r）－ 3.68｝＋（4.49 × s － 6.43）

｛35.09 ×（s － r）－ 3.68｝に小数点以下 3 位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入し、3 を超える場合には 3 とし、1 に満たない場合は 1 とし、（4.49 × s － 6.43）に小数点以下 3 位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入し、1 を超える場合には 1 とし、負数となるときは 0 とする。

算式Ⅴの符号

r　人口動態統計における平成 14 年から平成 16 年までの各年における合計特殊出生率の合計数を 3 で除して得た数（小数点以下 4 位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。）

s　人口動態統計における平成 25 年から平成 27 年までの各年における合計特殊出生率の合計数を 3 で除して得た数（小数点以下 4 位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。）

O　次の算式Ⅵによつて算定した数（当該数が 3 を超える場合は 3 とする。）

算式Ⅵ

o　平成 25 年から平成 27 年までの各年における転出者人口比率の合計数を 3 で除して得た数（小数点以下 4 位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。）

M　次の算式Ⅳによつて算定した数（当該数に小数点以下 3 位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入し、当該数が 3 を超える場合には 3 とし、1 に満たないときは 1 とする。）

算式Ⅳ

M ＝ 430.43 ×（q － p）＋ 5.80

算式Ⅳの符号

p　平成 15 年 3 月 31 日現在、平成 16 年 3 月 31 日現在及び平成 17 年 3 月 31 日現在における年少者人口比率の合計数を 3 で除して得た数（小数点以下 4 位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。）

q　平成 26 年 1 月 1 日現在、平成 27 年 1 月 1 日現在及び平成 28 年 1 月 1 日現在における年少者人口比率の合計数を 3 で除して得た数（小数点以下 4 位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。）

N　次の算式Ⅴによつて算定した数（当該数に小数点以下 3 位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入し、当該数が 3 を超える場合には 3 とし、1 に満たないときは 1 とする。）

算式Ⅴ

N ＝ 2.84 ×（s － r）＋ 9.29

算式Ⅴの符号

r　平成 14 年度から平成 16 年度までの各年度における自然増減率の合計数を 3 で除して得た数（小数点以下 4 位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。）

s　平成 25 年から平成 27 年までの各年における自然増減率の合計数を 3 で除して得た数（小数点以下 4 位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。）

O　次の算式Ⅵによつて算定した数（当該数に小数点以下 3 位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入し、当該数が 3 を超える場合には 3 とし、1 に満たないときは 1 とする。）

算式Ⅵ